

投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路課長 足立眞清 (宮本 眞介)	内線	4 4 7 4 (4482)
------	-----	---------------------	----------------------	----	-------------------

事業種目	街路事業	事業採択年度	昭和61年度		現計画	再評価時点
事業名	都市計画道路 尼崎伊丹線 (県道 尼崎池田線)	着工年度	昭和61年度	総事業費	8 6 億円 (内補助68億円)	8 2 億円
		再評価年度	平成10年度	内地補償費	1 5 億円 (内補助14億円)	1 5 億円
事業区間	尼崎市南塚口町～塚口本町			完成予定年度	平成17年度	平成15年度
所在地	尼崎市南塚口町～塚口本町			進捗率 (内用補進捗率)	95%(100%)	45%(100%)

事業の目的		事業内容	
阪神地域の南北主要幹線道路の渋滞解消 阪急神戸線を跨ぐ2車線の跨線橋及び側道踏切を 解消し、鉄道の高架化及び道路を4車線に拡幅す ることにより、渋滞の解消を図る。 都市防災機能の強化 災害時における阪神間南北の緊急輸送道路とし て、都市防災機能の充実を図る。		(都)尼崎伊丹線道路改築 L = 393m、W = 20 ~ 23m (4車線) 阪急電鉄神戸線 鉄道高架 L = 766m	

進捗状況	現状 阪急神戸線については、平成12年12月9日に上り線を、平成13年2月3日に下り線を高架仮線に切替。(ボトルネック3箇所の踏切除却) 平成14年3月に(都)尼崎伊丹線を4車線暫定供用し、高架本体工事を推進している。 経緯 収用物件並びに高架下不法占用物件について、平成12年5月に行政代執行を行い、これら手続き等に日時を要したため高架本体切替が遅延した。 今後の予定 平成15年11月に下り線、平成16年3月に上り線の高架本体切替し、高架本体切替後、引き続き高架仮線撤去工事を行い、平成17年度には(都)尼崎伊丹線の4車線完成を図る。
------	---

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故が多発している交差点を円滑で安全な交差点に改良する。</li> <li>緊急輸送道路にも位置づけられており、防災上の必要性も非常に高い。</li> <li>両側歩道(幅員3.0m)を設置し、高木植樹や透水性のインターロッキング舗装を行うことにより、快適でゆとりのある自転車・歩行者空間を確保する。</li> </ul>
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>用地買収も完了し、円滑な事業執行環境が整っている。</li> <li>費用便益費 B / C = 3 . 1</li> </ul>
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>透水性インターロッキング舗装、高木植樹、さらには沿線住民による花の演出によって緑と彩りを創出し、沿道環境の誘導・保全に努めている。</li> </ul>
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道工事を早期に完成させ、残る側道整備を行うことにより、阪急神戸線北側の家屋密集地区の交通と消化活動空間を確保し、安全なまちづくりを進めるとともに、阪急塚口駅のアクセス性を高め、駅周辺の活性化を図るために本年度末の高架切替に続き、早期に尼崎伊丹線の4車線完成を図る必要がある。</li> </ul>

再々評価の結果	継続	左の理由	上記理由により継続が妥当である。
---------	----	------	------------------